

事例検討—ケースから学ぶ—

今回の研修では、事例を幅広く捉えています。たとえば、相談室でカウンセリングをしている、学校で子どもと関わっている、幼稚園、保育園、学校で保護者の相談を受けている、患者やその家族へのサポートをしている、などなど、いろいろな臨床場面の事例を対象にいたします。このようななかで日頃、問題を的確に把握したい、解決の対応スキルを知りたい、相手の理解と関わり方に困り、その乗り越え方を知りたいなどを感じることはないでしょうか。参加者からの具体的事例をもとにそれぞれのニーズに合わせ、参加者の協力を得ながら課題を共有し、皆で学び合う研修にしたいと考えています。そこで、進め方は毎回違うかもしれませんが、参加者に事例を準備していただき、提出して良かったと思えるような研修になることを願っています。

* 講 師：遊佐安一郎 先生（長谷川病院リハビリテーション部長）

藤田博康 先生（帝塚山学院大学大学准教授）

* 期間・回数：平成20年6月～11月の 土曜日 各月1回（1回 3時間） 計6回

* 日 程

月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
日	14	12	23	20	25	15
講師	藤田先生	藤田先生	遊佐先生	遊佐先生	遊佐先生	遊佐先生
時間	全回 14時～17時					

* 会 場：NPO 法人日本家族カウンセリング協会内研修室（協会は下記の場所に移転しました）

〒166-0011 杉並区梅里 2-40-16 ビラージュ白井 7F 東京メトロ 丸の内線南阿佐ヶ谷駅 徒歩6分
Tel: 03-3316-1955 fax: 03-3316-1956

* 定 員：16名（開講最小人数9名）ただし定員を上回る応募があった場合は、先着順といたします。

* 参加資格：家族心理士、家族相談士、家族相談士養成講座修了者、及び当協会会員で同程度の研修歴のある者

* 申込締切：平成20年5月15日（木）必着

* 申込方法：申込書とレポートを上記協会事務局に郵送して下さい

* 受講料：協会会員 35000円 ・一般 40000円 分割支払可（教材費は別途実費）

（後日、参加の可否通知、および参加者には会場地図、参加費納入案内などをお送りします）

* 本研修会に80%以上出席した場合、家族心理士または家族相談士の継続研修実績の対象となります（3P）

* 参加申込みをされた場合は、できるだけ欠席のないようお願いいたします

* 講師プロフィール：

《遊佐安一郎先生》上智大学外国語学部英語学科卒。ニューヨーク州立大学オールバニー校博士課程修了、教育学博士（Ed.D）。ニューヨーク州立病院臨床心理士、長谷川病院クリニカルコーディネーター。サウスビーチ精神科センター（ニューヨーク州）チーフ・オブ・サービスを経て、現在長谷川病院リハビリテーション部長兼クリニカルコーディネーター

《藤田博康先生》京都大学教育学部（臨床心理学専攻）卒業。筑波大学大学院修士課程（カウンセリング専攻）修了。家庭裁判所調査官、最高裁判所在外研究員（米国）、MRI 短期療法センター研修員等を経て現職。統合的心理療法研究所研究員。家族心理士。臨床心理士

* 本研修は日本家族カウンセリング協会主催の研修会および家族相談士養成講座で家族カウンセリングについて学んだ基礎的な知識を、実践の場で活用できるものになりたい、あるいは更に研鑽を積みたいという方を対象としたものです。

これまでの実践的継続研修をブラッシュアップ研修と名称を新たにしました。小グループで、集中的に行われる今研修を家族の援助者としての専門性を高めることに役立ててください。